

凍結精液という遺伝資源を利用して農場種豚の更新を

当研究部では、豚凍結精液技術を開発し、全国に先駆けて凍結精液の製造及び販売を行っています。種豚・液状精液・凍結精液を県内生産者へ供給していますが、その中で安価でかつ簡単に優良な遺伝資源を導入できるのは凍結精液です。そこで、当チームでは、より優良な遺伝資源を生産者へ供給するため、国内・海外から優秀な遺伝資源を集め、凍結精液技術を駆使して種豚の改良に取り組んでいます。

目標は、一母豚あたりの年間離乳頭数を現在の19.8頭（大分県平均）から25.0頭へと大幅に改良することです。

【研究のポイント】



多産系母豚を作出する種雄豚
左:大ヨークシャー 右:ランドレース



増体の良好な止め雄
デュロック

<ポイント>

- ① 豚繁殖指数(繁殖能力を数値化したもの)を基に繁殖能力の高い母豚のみを選抜する
- ② 選抜母豚の過去の家系を見直し、後代検定を実施することで能力の高い種豚を凍結精液で復活させる
- ③ 雌は多産系、雄は高い増体能力を持った系統を国内・海外から導入する

現時点で(試験開始1年経過)、以下の好成績で順調に改良が進んでいます。

●ランドレース・大ヨークシャー・LW^{※1}母豚の母豚一頭当たり平均総産子数は12.5頭、離乳頭数は10.3頭

(母豚16頭、のべ44分娩の成績) ※1 LW:ランドレースと大ヨークシャーのF1雑種

●農場の回転率^{※2}が2.3回転で、10.3頭 × 2.3回転=23.7頭(年間離乳頭数)と、目標数値の約94%を達成しています。 ※2 回転率:母豚一頭当たりの平均分娩回数/年

【研究の状況・成果】

<今後の取り組み>

- ① 上述の優良母豚の後代を作出し、生産者へ供給
- ② H26年11月以降から上述種豚系統の凍結精液を製造・供給
- ③ 目標数値を上回る種豚の改良に着手



スーパー母豚を作出する素の母豚
GP;ランドレース



スーパー母豚となるF1雑種母豚
ランドレース × 大ヨークシャー

【生産者の声】

母豚を生産するために必要な大ヨークシャーの精液を凍結精液で導入しています。後代検定で繁殖能力が判明された精液なので、繁殖成績が向上しただけでなく、肉豚の体型に伸びがでて役に立っています。

さらなる種豚の改良を期待しています！

(大分県内 生産者)



【連絡先】

担当:農林水産研究指導センター 畜産研究部 豚・鶏チーム
TEL :0974-22-0673
住所:大分県豊後大野市三重町赤嶺2328-8